

《8月20日(土)13:00~15:30》

広島市主催 RCCラジオ共催

第4回 広島市防災セミナー みんなで防災！広島家族。 誰ひとり取り残さない『みんなの避難』を考える

広島市安佐北区・安佐南区等に甚大な被害を招いた平成26年8月20日豪雨災害からちょうど8年。マエダハウジング安佐南区民文化センターで「要配慮者の避難」をテーマに第4回 広島市防災セミナーを開催しました。

司会は本名正憲アナウンサー。黙祷、広島市長の挨拶に続く第1部は、福祉防災の専門家として内閣府等への助言も行う跡見学園女子大学の鍵屋一教授の基調講演「誰ひとり取り残さない！みんなの避難！！」。配慮や支援が必要な高齢者・障がい者、妊産婦、乳幼児のいる家庭等の避難について、地域の絆を日頃から保つことの重要性をお話しいただきました。

第2部は、「広島家族。の選択。災害避難あなたならどうする？」と題したトークセッション。広島市危機管理室の中山義隆室長や、障がいのあるお子さんを育てながら「広島市手をつなぐ育成会 親の会」安佐北区支部長・広島市地域防災リーダーとしても活動中の小川優子さん、RCC気象予報士で防災士の岸真弓さんも登壇。広島市地域防災リーダーで介護芸人として福祉に携わる鹿見勇輔さんらの寸劇もまじえて、観客席も一緒に避難の課題を考える時間になりました。

9月1日からアーカイブ配信、ダイジェスト版のラジオ番組を9月4日(日)20時~放送予定です。



■ 災害情報コーナー
避難グッズ・非常食紹介も



■ 松井一寛広島市長ご挨拶



■ 黙祷



■ 広島市動物愛護センターによる
「ペットの避難」コーナー



■ 第1部 鍵屋教授の基調講演は
準備運動からスタート



■ 第2部 トークセッション



■ 鹿見勇輔さん・ブーゲンビリア亮介さんは高齢者、障がい者・乳幼児のいる家庭の課題を寸劇で紹介。「地域コミュニティ=広島家族。」が声を掛け合い、日頃から絆を強めておく重要性を再認識。

